



OpenLab CDS へのアップグレードで データ処理を効率化

Agilent OpenLab CDS

Agilent
OpenLab

早期のアップグレードが必要なケース

- サポートの終了したオペレーティングシステムでソフトウェアを実行している
- コストやダウンタイムのために最新の機器を活用できない
- サンプルの分析ではなく IT タスクに長い時間を費やしている
- データインテグリティを向上させるソリューションが必要

テクノロジーリフレッシュが容易に

OpenLab CDS ワークステーションに、従来の ChemStation、ChemStation Edition、EZChrom Edition、Galaxie CDS からの自動移行ツールが搭載されました。この自動処理により、OpenLab CDS へのアップグレードに伴うコストとダウンタイムを削減できます。メソッドの再作成が必要ないため、アップグレード前後の分析結果の比較も可能です。ユーザー情報と機器情報が新しいシステムにシームレスに移行されるため、新しいデータシステムの使用を直ちに開始できます。次のデータが OpenLab CDS に移行されます。

- **結果セット:** データを OpenLab CDS のデータ解析で再使用
- **メソッド:** メソッドを OpenLab CDS にインポートし、取り込みやデータ解析で再使用
- **ユーザーおよび機器情報:** ユーザー、ユーザーグループ、ロール、権限、機器の構成を移行

OpenLab CDS で未来のラボを実現

Agilent OpenLab CDS は、使いやすさと生産性を考慮して設計された次世代のクロマトグラフィーデータシステムです。GC、LC、GC/MS シングル四重極、LC/MS シングル四重極、超臨界流体クロマトグラフィー (SFC) などのアジレント製機器に対する最も包括的な機器コントロール機能とデータ取り込み機能を備えています。また、他社製機器のサポートも拡大されているため、OpenLab CDS という 1 つのソフトウェアシステムで分析ラボ全体を管理することができます。



主要機能が OpenLab CDS への円滑な移行をサポート

ChemStation と EZChrom Edition をご利用の場合は、以下のことが可能です。

- **結果セットの効率的なインポート:** 結果セットと関連するメソッドをインポートして、データを再処理し、元の結果セットを変更することなく、OpenLab CDS のフォーマットに変換できます。
- **メソッドの拡張インポート:** 化合物の同定の設定と積分イベントが搭載されるようになりました。
- **データ解析における結果セット起動時の自動メソッドインポート:** ボックスの中をクリックするだけで、開いた結果セットに関連するメソッドを特定でき、新しいメソッドの作成が容易になります。
- **プロジェクトをまたぐファイル表示:** 1 つのプロジェクトで作業しながら別のプロジェクトを閲覧できるため、OpenLab CDS の結果セットとメソッドの作成が効率化します。



ラボを最新の状態に保ちつつアップグレードコストを低減

OpenLab CDS を最新の状態に維持して新機能やアップデートを利用でき、必要に応じてサポートを受けられます。アジレントの年間ソフトウェアメンテナンスサブスクリプション (SMA) をご利用いただくと、アップグレードが無料になり、電話でのお問い合わせ時に優先的にサポートを受けることができます。

CrossLab テクノロジーリフレッシュサービス

OpenLab CDS の移行ツールは、自動化され、使いやすく、無料で使用できます。アジレントはデータ移行を支援するサービスも幅広く提供しています。お客様のご相談に応じて、メソッド、ワークフロー、データの新しいプラットフォームへの移行管理をサポートします。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2018
Printed in Japan, May 21, 2018
5991-9462JAJP

 **Agilent**
Trusted Answers